

平成31年度 事業実績報告書

申請者の概要

申請者	団体名	泉佐野商工会議所	
	代表者職・氏名	会頭 濱崎 忠親	
	所在地	〒598-0006 泉佐野市市場西3丁目2番34号	
	担当者	職・氏名	中小企業相談所長 永田 一夫
		連絡先	電話番号（直通）： 072-462-3128
Fax： 072-463-8780			
		E-mail： info@izumisano-cci.or.jp	
①設立年月日 ②職員数 （うち経営指導員数） ③所管地域 ④管内事業所数 ⑤管内小規模事業者数 ⑥会員数（組織率） ※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載のこと		昭和25年12月9日 12名（経営指導員 7名） 泉佐野市・田尻町 5,270件 3,421件 1149件（21.8%）（令和2年3月31日現在）	
□主な事業概要（定款記載事項等）			
1.商工会議所としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。 2. 行政庁等の諮問に応じて答申すること。 3. 商工業に関する調査研究を行うこと。 4. 商工業に関する情報及び資料の収集又は刊行を行うこと。 5. 商工業に関する講演会又は講習会を開催すること。 6. 商工業に関する技術及び技能の普及又は検定を行うこと。 7. 博覧会・見本市等を開催し、又はこれらの開催の斡旋を行うこと。 8. 商事取引に関する仲介又は斡旋、仲裁を行うこと。 9. 商工業に関して相談に応じ、又は指導を行う。			

泉佐野商工会議所

(1) 事業の目標

小規模事業者が本来持つ強みを発揮できるような財政基盤の強化（資金繰り・資金調達・財務分析等）、労務や人材育成、マーケティング、販路開拓等の支援により、土台となる経営基盤の強化を図る。製造業等については、新たな付加価値の創造や取引先の拡大、従業員の士気向上を図るために、イベント等の活用による支援を実施。商業サービス業では、消費税の増税等が本年より実施となることから、経営環境の変化をチャンスに捉えて、それぞれの個性と魅力に磨きをかけ、地域のニーズに対応した商品・サービスを提供できるようにし、消費喚起に繋げる。人材確保に時間や費用をかけることのできない小規模事業者について、ワークフェア等でのマッチングや人材定着・育成のためのセミナーを実施し、持続的な競争力の維持・強化に繋げる。創業については、地域活性化の起爆剤になることから、地域での創業への関心を高めていくと共に、スムーズな創業の支援を目指す。当地は関西国際空港の直近の街という地理的環境の中、海外からの観光客が年々増加しているが、そのニーズも変化してきており、その対応が地域にとっては急務である。また商工フェア等を通じて、時代を担う子供たちや地域での「ものづくり」への関心を高め、技術の伝承や後継に繋げる。経営指導員間の連携や専門家、各支援機関との連携を強化し、日常の巡回・窓口相談の効果がより高まるようにすすめていく。

(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

特に金融支援については、新型コロナウイルスへの影響がどこまで続くのかわからないという時期でありましたが、金融機関との連携のもと相談業務等に取り組んだ。商工まつりやまちゼミ等の市民参加型イベントは、地域に根差したイベントという色が濃くなり、様々な市民の皆さんや各種の地域の団体の方々と交流により、情報交換がしやすい環境へと変わりつつあり、地域の課題等を吸収しやすくなった。専門相談事業では、年々、知財相談が増加している。市町村や関係機関との連携により優秀な人材確保と地域の雇用安定のための「合同就職面接会」や就職困難者と企業のマッチング「就労支援フェア」を開催し、地域の活力増強の一助となった。関西国際空港の直近の街として、駅周辺の中心市街地の活性化は不可欠であり、「ランチマップ」事業により、消費喚起と賑わい創出に貢献できた。セミナーでは、働き方改革に対応し、女性の働きやすい職場づくりや製造業の生産性向上を目指したセミナーを開催し地域の職場環境改善の一助となった。

(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況

事業者へのキメ細かなヒアリングを行うことで、小規模事業者が抱える潜在的な経営課題の発掘と適切なアドバイスにより、課題解決へ導くことができ、特に金融支援や事業計画支援、販路支援を重点的に取り組み、より深い支援を行う事ができた。また専門的な経営課題については、各種支援機関や専門家を活用することで、事業者の経営力向上に幅広く貢献。特に知財相談での課題解決がすすんだ。セミナー等の事業では、スキルアップ、資質向上、働き方改革への対応や情報収集に繋がった。又同じような経営課題をもつ参加者間の情報交換等により、人的ネットワークの構築に繋げることができた。「泉佐野ブランド」のPRを広く内外に行うことが「商工まつり」の開催により可能となり、今後も地道に回数を重ねていくことで、その効果が拡大できると確信できた。関西空港の玄関都市としての中心市街地の活性化は重要なテーマであり、「さのまちゼミ」や「ランチマップ」事業を通じて、商店街等の活性化にも繋がった。「就職フェア」では、地域の優秀な人材を確保したいというニーズを結びつけることができ、また「就労フェア」（高齢者雇用促進フェア）では、高齢者の確保に貢献し地域の活性化に繋がった。

(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

巡回・窓口指導等において今年度の件数は、新型コロナウイルスの影響もあり相談件数が19%伸びた。新型コロナウイルスの影響は長期化するものと予想されるため、今後も適宜、情報収集に努め相談業務に取り組む必要がある。消費者の購買意欲の減少など、小規模事業者をとりまく環境は厳しい中、売上アップを目指し引き続き魅力ある商品・サービスのPRについて、更なる支援策が求められている。求人に関心を持っていない事業所は多いが、求職者を集めることが難しい状況にあるが、効果的な広報を見い出せていない。経営環境の悪化による課題解決については、金融機関をはじめ各種支援機関や専門家との連携を、なお一層強化して取り組む必要がある。

(5) 来年度への取り組み

経営指導員の資質向上や支援ノウハウの共有をはかり、小規模事業者に寄り添った伴走型の支援が必要である。関西国際空港の直近の地域として、新型コロナウイルスの影響により痛手を受けている観光・飲食業の景気回復・飛躍のためにサポートを重点・強化する。近隣の商工会議所との広域連携事業により、ビジネスチャンスの場を提供すると共に、お互いの事業効果を高める。また事業承継問題は、地域経済の衰退危機を孕んでいるため、「声かけ」を通じてニーズを掘り起こす必要がある。

泉佐野商工会議所

I 経営相談支援事業

支援のポイント・成果

コロナウイルスの影響もあり年度末にかけて、金融支援（金融指導型・紹介型）を求める事業所が増加すると共に、資金繰り計画支援も件数が伸びた。またこれにより事業者との距離感が縮まり、新たに信頼関係を構築することができ、他の支援メニューを紹介しやすくなった。今年度は、創業支援では積極的に創業施策のPRを行い問合せは多かったが支援までに結びつくのは少なかったが、地域において新たな働き方のひとつとしての創業に関心が高まりつつある。記帳支援については、10月からの消費税制度の改正や今後のインボイス制度への対応について課題を残している事業所へのアプローチにより支援数が増加。また販路開拓支援は、今後の企業成長に欠かせない取り組みのため、積極的に展開し、販売力やブランド力のアップに繋げることができた。一方、地域経済の今後を占う意味でも大変重要な課題である事業承継支援については、計画を下回る結果となったが、事業承継についての事業所の代表者の考えをきくことができ、今後の方策を立てやすくなった。

<代表事例>A社

地域で39年の実績の飲食店。得意先は企業の役員クラスがメイン層のため、こだわりのグルメ客が多い。そのため社長自らが、直接、買い付けに行き、いいものを仕入れるように努力されている。そんな中、コロナショックの影響が世界的な規模となる中、突然に大きな被害を受けることになった。資金繰りを練ると、今後の見通しも立たない状況であり、まずは運転資金の調達で、資金繰りの改善を緊急に図る必要性が発生した。そこで新型コロナウイルス対策の融資を活用、金融機関のスピーディな対応もあり、当面の経営危機を乗り切れるであろう資金の調達ができ、売上アップに向けての対策に集中することができるようになった。

支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
事業所カルテ・サービス提案	事業所	225	264	117.3%	5
支援機関等へのつなぎ	支援数	5	5	100.0%	5
金融支援（紹介型）	支援数	8	14	175.0%	5
金融支援（経営指導型）	支援数	90	81	90.0%	4
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	2	2	100.0%	5
資金繰り計画作成支援	事業所	50	69	138.0%	5
記帳支援	事業所	26	45	173.1%	5
労務支援	支援数	45	42	93.3%	5
人材育成計画作成支援	事業所	0	0	—	
マーケティング力向上支援	事業所	0	0	—	
販路開拓支援	支援数	60	68	113.3%	5
事業計画作成支援	支援数	23	22	95.7%	5
創業支援	事業所	5	4	80.0%	5
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	0	0	—	
コスト削減計画作成支援	事業所	28	23	82.1%	4
財務分析支援	事業所	55	54	98.2%	5
5S支援	事業所	0	0	—	
IT化支援	事業所	0	2	—	5
債権保全計画作成支援	事業所	0	0	—	
事業承継支援	事業所	5	2	40.0%	3
災害時対応支援	事業所	9	9	100.0%	5
結果報告	事業所	195	219	112.3%	5

II 専門相談支援事業

支援のポイント・成果

専門家へ繋ぐ前に、経営指導員が経営者の経営課題について、的確に把握した上で、専門家と繋ぐことを心掛けていることで、よりスムーズな課題解決になり満足度アップにも繋がった。特に知財相談が年々、需要が高くなっている。税務相談では、3月の相談会が新型コロナウイルスの影響で、予定期間の途中で中止となったため、相談件数はあまり伸びなかった。尚、相談会は税理士会との連携にて実施しており、相談者の満足度は高かった。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
法律	継続	相談者数	7	12	171.4%	5
税務	継続	相談者数	10	12	120.0%	5
労務	継続	相談者数	4	5	125.0%	5
知財	継続	相談者数	13	15	115.4%	5

泉佐野商工会議所

Ⅲ 地域活性化事業

支援のポイント・成果

・「商工フェアIN泉佐野」では、直接、消費者へPRする場が少ないことに起因する課題解決のため物産展を開催。お客様の生の声を聞く場として活用すると共に、展示即売会出店スキルを身に付けることができ、今後の各種展示会への出展意欲が高まり販路拡大のチャンスが拡大した。

・「泉佐野ランチガイドブック」では、地域では日中の飲食店のPR機会が少なく目立たないという課題があり、ガイドマップを作成することで、各店舗が個性溢れる店舗としての差別化を図ったことで、新たな気づきや今後のお店の方向性を探る機会となり、今後の活性化に結びつけることができた。

・「さのまちゼミ」では、お店からの商品と顧客との出会いの場を提供することで、「今度は客として来店したい」という思いにつながり、広く顧客を呼び込み個店の新規顧客の獲得につながった。又、事業連携や異業種間のマッチングなど、ネットワークの形成による販路開拓等の成果が生まれた。

・「民法改正でこう変わる！契約実務講座」では、事業者が商売を行う上で大きな影響が出ると予想される項目についての理解を深め、スムーズな事前準備を行うための不安を解消した。

・「就労支援フェア」（高齢者雇用促進フェア）では、豊富な経験や知識を持つ高齢者を確保したいというニーズと結び付け又、障がい者や母子家庭等の就職困難者の方と企業ニーズを結びつけ雇用促進を図ることで、若手社員等の人材育成にも相乗効果があった。

・「製造業のための生産性向上セミナー」では、人口減少というこれまでにない局面の中で、成長力を強化することが、喫緊の課題となっており、5S活動や現場改善の取り組みの重要性を認識頂いたので、今後の現場改善に拍車がかかった。

・「女性の働きやすい魅力ある職場づくり」では、労働環境の変化への対応として女性活躍推進の意義と取り組み方を学ぶセミナーを開催し、職場改善に向けての取り組み意識の向上を図ることができた。

・「就職フェア」（合同就職面接会）では、地域の優秀な若手者層の人材確保したいというニーズを結びつけることを目的に開催。「若年者就労相談」や「自己PRポイント発見セミナー」等も開催し優秀な人材を確保頂けるように取り組んだ。

・「若手社員フォローアップ研修会」では、入社して間もない若手社員や新卒社員に対して挨拶・名刺交換・電話対応といった社会人として必要不可欠なビジネスマナーの再確認・再発見を促すことができ業務の円滑な遂行が可能になった。

・「人材採用・定着セミナー」では、人材の採用・定着について悩んでいる事業所に対して人材対策セミナーを実施し、理解を促すことができ、人材の確保・従業員の離職防止に繋がった。

・「訪日外国人満足度セミナー」では、海外からの観光客は日本文化を楽しむという体験型旅行に変化していることから、海外の文化や習慣を理解し、コミュニケーション方法を学ぶことで、インバウンド対応の不安やストレスを減らすことができ、前向きにコミュニケーションを取っていききたいという意欲が増進した。

(1) 単独事業

府施策連携	事業名	支援対象企業	支援企業	支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標	目標値	実績	達成率	事業評価
○	商工フェアIN泉佐野	35	29	82.9%	86	自社の製品のPRに繋がった企業の割合	80%	86%	107.5%	5
	さのまちゼミ	50	50	100.0%	91	さのまちゼミ受講者が再来店(リピート)した参加店の割合	50%	75%	150.0%	5
	民法改正でこう変わる！ 契約実務講座	15	8.0	53.3%	75	民法改正前について理解を深めた事業所	80%	75%	93.8%	4
	泉佐野ランチガイドブック	50	28	56.0%	69	店舗のPRに繋がったと実感できた企業の割合	70%	73.3%	104.7%	4
○	就労支援フェア (高齢者雇用促進フェア)	15	15	100.0%	64	採用に結び付いた企業の割合	50%	20%	40.0%	4
	製造業のための 生産性向上セミナー	20	8	40.0%	95	生産性向上に取り組もうと検討する企業の割合	70%	88%	125.7%	4
	女性の働きやすい 魅力ある職場づくり	20	3.5	17.5%	98	女性の活路を見出した企業割合	70%	100%	142.9%	4

(2) 広域事業(幹事事業のみ)

府施策連携	事業名	支援対象企業	支援企業	支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標	目標値	実績	達成率	事業評価
○	就職フェア (合同就職面接会)	35	33	94.3%	50	若年者等との面談ができた事業所の割合	70%	49%	70.0%	4
○	若手社員フォローアップ 研修会	24	17	70.8%	93	ビジネスマナーへの理解が深まった企業の割合	80%	91%	113.8%	5
○	人材採用・定着セミナー	21	12	57.1%	82	人材採用・定着への理解が深まった企業の割合	80%	88%	110.0%	5
	訪日外国人満足度 増加セミナー	15	14	93.3%	96	訪日外国人へのコミュニケーション対策を検討する企業の割合	70%	81%	115.7%	5

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

泉佐野商工会議所

事業名		商工フェアin泉佐野						
想定する実施期間		H 29 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	泉州地域のタオルや農作物など、優れた特産品を、直接、消費者へPRする場が少ないことから、認知が浸透していない面がある。商業サービス業においても、魅力ある店舗であるが発信力が弱いために、消費者に魅力が届かないケースがある。そこで本事業では、泉州の特産品や地場産業のPRの場として物産展を開催。事業者と消費者の交流を深め消費者ニーズの把握による活性化、又事業者間の情報提供・交流を行うことで、自社の強みや弱みに気づく機会となる。又、出展を通じて、展示即売会出店スキルを身につけることができ、今後、各種展示会への参加意識が高まり、多くの販路拡大の機会を得ることができ、次世代の若者や子供たちに、「ものづくり」の魅力を感じて頂くために、地域の企業や団体、大阪府人材育成課・大阪府技能士連合会の協力を得て、「ものづくり業室」を開催。将来の就職意欲を高め、又地域での創業を目指すきっかけとなる。						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	地域において、商品や事業所の認知度をアップさせ、販路拡大に積極的に取り組みたい商工業者(業種はすべて対象)						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日時 令和元年9月21日(土)・22日(日) AM11:00~PM4:00 ・会場 レイクアルスタープラザ・カワサキ生涯学習センター前広場 他 ・実施内容 泉佐野周辺地域の事業所が、地域住民に対し「自社商品や製品の紹介」やお客様の「生の声を聞く」場として活用。地域住民においては、市内事業所や地場産業を知る機会となった。わがまち泉佐野の「誇れる事業所」を認識することで「事業所と市民」との共生意識の促進を図ることができた。出店事業者からの協力を経て、地場産品の抽選会を紹介。 ・来場者数 7,000人 ●「展示・販売・飲食等」 ①「商品・地場産業展示コーナー」・・・23社(専門相談コーナーを含む) ②「商品の販売・飲食コーナー」・・・15社 ③「地域の団体等のコーナー」・・・8団体(泉佐野警察署・泉佐野消防署・商工会議所青年部等) ●「ものづくり教室」 ①「大阪府技能士連合会」 ・大阪府印章技能士会による「石のはんこづくり教室」 38名(9月21日(土)) ・大阪府調理技能士会による「プロによるだし巻きのコツ料理教室」 50名(9月21日(土)) ②「泉州タオル染色・体験教室」(9月22日(日)) ・内 容 「世界にひとつだけの タオル体験学習」(ダイワタオル協同組合他 協力指導) ・会 場 レイクアルスタープラザ・カワサキ生涯学習センター ・参加者 72名 ③「古代のロマン・勾玉づくり体験教室」(9月22日(日)) ・内 容 古墳時代のネックレス・装飾品・勾玉を手作業で首飾りまで作る ・会 場 レイクアルスタープラザ・カワサキ歴史館いずみさの ・講 師 レイクアルスタープラザ・カワサキ歴史館いずみさの 学芸スタッフ ・参加者 116名 ●「ステージショー」・・・「あわ踊り」「バトントワリング」「キャラクターショー」「歌謡ショー」「マジックショー」「泉佐野警察の防犯教室」他 						
	<p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p>							
	①府施策連携	大阪府人材育成課並びに大阪府技能士連合会と事業内容等、情報交換を行い、技能士会による「ものづくり教室」(大阪府印章技能士会・大阪府調理技能士会)を開催。						
②広域連携								
③市町村連携	泉佐野市の町会及び田尻町報を通じてPR活動に協力を得た。又情報交換等によりスムーズにすすめることができた。							
④相談相乗	現状ではカルテ化はなかったが、情報提供を通じて販路支援に繋げる。							
計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	35	支援企業数(実績)	29	支援実績率	82.9%	満足度	86
事業の実績	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<ul style="list-style-type: none"> ・今回で3回目の開催であるが、ようやく天候等に恵まれ、来場者数は7000人を超え、地域イベントとして根付きつつある。出展者からは、「今後の品揃えについて参考になった」「新しいアイデアへのヒントが得られた」「広く市民の方々にPRできたという実感を得ることができた」等の感想を頂き、今後の販路の拡大へ向けての意欲を高めることができた。 						
	指標	自社製品のPRに繋がった企業の割合						

目標達成度		数値目標	80%	実績数値	86%	目標達成度	107.5%
	成果の代表事例	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府技能士連合会の参加により、子供や女性の来場者が増えた。 ・回を重ねるごとに、参加者のディスプレイ等に創意工夫が見られ、来場者へ情報が伝わりやすくなっている。 					
	その他目標値の実績	目標値 (計画)	3,150	目標値 (実績)	7000	目標達成度	222.2%
実施結果		出展者等による積極的なPRもあり、地域において、このイベントをみんなで盛り上げようという気運が高まった。					
	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題」としては、参加店舗への来場者を平準化するためにも、回遊性の改善を図るために、ブース配置の改善を図る必要がある。またPRの期間を十分にとることで、来場者層を広げる。次回は泉佐野商工会議所創立70周年の記念すべき節目の年となるので、同事業のさらなる飛躍のスタートとしたい。 					

泉佐野商工会議所

事業名	さのまちゼミ
想定する実施期間	29 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)
	支援する対象 (業種・事業所数等)
	実施時期・具体的な内容及び事業手法
	事業手法
インターネットが普及した昨今では直接店舗に来店しなくてもネット上で買い物を済ませることができるが、店舗に直接行くことでしか伝わらないことも多々ある。お店から商品と顧客との出会いの場を提供することで直接のコミュニケーションを通じた生の情報発信が可能となり、店主の人となりや知識、ノウハウを知ってもらうことで「今度は客として来店したい」という思いにつながっていく。本事業を通じて、地元の顧客をはじめ、広く顧客を呼び込み、個店の新規顧客の獲得を支援していく。 また、本事業の参加事業者については、セミナーや実行委員会を通じて互いの交流を深め、事業連携や異業種間のマッチングなど、新しい取り組みを行う際の足がかりとなるネットワーク形成を図る。本事業はすでに2回の実施を経て、顧客の獲得の他にこうした事業者間のつながりによる販路開拓や連携といった成果が出ており、今後回数を増すごとに参加事業者の増加や連携の強化によってさらなる副次的効果が期待できる。	
南海本線泉佐野駅より徒歩10分圏内に所在し、自店の持つ知識やノウハウの情報発信が可能である事業者を募集する。主に飲食・小売・サービス関係。エリア外の事業者についてはエリア内の施設(公民館・他店舗)を利用する形で参加するか、もしくは他店とのコラボ(2事業者が1つの講座を開講)での参加となる。	
<第1回セミナー> 【日 時】平成31年4月15日(月) 午後7時～9時30分 【講 師】第3回さのまちゼミ実行委員長 公文 一雄氏 【内 容】「三方よしのまちゼミ事業とは」 【会 場】「泉佐野商工会議所 4階さくらホール」 <第2回セミナー> 【日 時】令和元年6月6日(木) (2部開催) ①午後1時～3時 ②午後7時～9時00分 【講 師】表町商店街まちゼミ直前実行委員長 矢部 久智氏 【内 容】「講座の組み立て方、まちゼミのツボと仕組みについて」 【会 場】「泉佐野商工会議所 4階さくらホール」 <第3回セミナー> 【日 時】令和元年8月21日(水) (2部開催) ①午後2時～4時 ②午後7時～9時00分 【講 師】表町商店街まちゼミ直前実行委員長 矢部 久智氏 【内 容】「まちゼミ本番までの準備・オペレーション、実施後のアフターフォローについて」 【会 場】「泉佐野商工会議所 4階さくらホール」 <第4回セミナー> 【日 時】令和元年11月20日(水) 午後5時30分～6時45分 【講 師】第3回さのまちゼミ実行委員長 公文 一雄氏 【内 容】「まちゼミアンケート結果の分析・次回へのブラッシュアップ」 【会 場】「泉佐野商工会議所 4階さくらホール」 <第3回 得する街のゼミナール さのまちゼミ> 【日 時】令和元年9月5日(木)～10月5日(土) 【内 容】「自社店舗を会場として店主が講師となり、自分(自社)の持つ知識・ノウハウ・技術を受講者に無料で提供するミニ講座の実施」 【会 場】「各参加店の店舗内・泉佐野商工会議所 他(南海本線泉佐野駅周辺)」 【参加数】56店舗(補助対象 社)・全70講座 受講者延べ762名 【主 催】泉佐野商工会議所・泉佐野商業会連合会 【後 援】泉佐野市 *第2回・第3回セミナーについては夜間営業店舗の参加を促すため、開催時間を分けて2部開催とした。	
<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>	
①府施策連携	
②広域連携	
③市町村連携	泉佐野市と連携し後援名義の提供の他、市報とのチラシ同時配布や市役所等公共施設へのチラシ配架にご協力いただいた。
④相談相乗	本事業の参加により販売促進への取り組みを強めた参加店から、他の参加店と合同でまちゼミ講座と同様のイベントを行う事業所もあったが、カルテ化には繋がらなかった。

事業の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	50	支援企業数(実績)	50	支援実績率	100.0%	満足度	91%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	まちゼミ講師店として参加することで開講した講座の内容を普段の接客に取り入れるなどして販売促進に取り組む姿勢を強めた事業者が多かった。また、自分の経験や知識が人の役に立つことが初めてわかってうれしかった・参加者や講師店との交流が図れた・講座を受講してくれた人が店に来てくれた・という声もあった。全体としてまちゼミを通じてリピーターを獲得し、売りに繋がる実感を得たことで日々の事業運営にも良い影響を及ぼしていることがR1.11開催の結果検証会でわかった。							
		指標	さのまちゼミ受講者が再来店（リピート）した参加店の割合						
	数値目標	50%	実績数値	75%	目標達成度	150.0%			
成果の代表事例	泉佐野市内にあるケーキショップ【パティスリーアン・スリール】では講座後に、まちゼミ受講者がリピーターとして再来店したのに加え、他の参加店から『場所を借りて合同でイベントを行いたい』と申し出を受け、一緒にイベントを開催する事になったと報告を受けた。そのほかにも、まちゼミを通して普段接する事がない、他の講師店との繋がりも持つことができ、非常に満足してもらえた。(H30よりさのまちゼミ実行委員長に就任している)								
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	まちゼミの講座数は第2回目と比べて減少したが、1人も申し込みがない講座は1講座しかなかった。講座内容も満足度が高い講座が多く、アンケートで不満と答えた人は0人だった。今後の課題としては、お金の工面が挙げられる。R1.11に行った検証会ではそうした課題や反省点も全体で共有し、自主運営になっても、さらに良い結果を残せるようフォローを行っている。結果検証会では、次回に向けてのさまざまなアイデアが参加事業者よりあがったが、商工会議所として、分からないことがあれば随時フォローを行っていく。							

泉佐野商工会議所

事業名		民法改正でこう変わる！契約実務講座							
想定する実施期間		令和元年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	2017年5月に成立した「民方の一部を改正する法律」が2020年4月1日から施行される。民法には、「契約」等に関するもっとも基本的なルールが定められており、「債権法」と呼ばれるている。この部分が、民方制定以来、約120年間経過した今日、社会経済の変化に対応した民法のルールをわかりやすく解説することを目的に開催した。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉佐野市、田尻町の事業所の代表者、従業員を対象に幅広く募集する。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	開催日時：令和元年11月12日(火) 13:00～16:00 会場：本所2階第1研修室 講師：司法書士 統合 進 (大阪司法書士会所属) 内容 講師がテキストをもとに、講師が民方の改正の内容について詳しく説明する。その後、わからない点や他の民法に関する質疑応答を行った。							
		<事業手法 (①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果) の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携		②広域連携		③市町村連携	市役所及び町役場へ配架し幅広い周知が出来た。		
	④相談相乗	仕事上で民法に関することで、わからない点があれば、専門家との連携を行う。							
事業の実績／目標達成度	計画に対する実績 (数値)	支援企業数(計画)	15	支援企業数(実績)	8	支援実績率	53.3%	満足度	75
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	民法改正にかなでも、事業所に直接関心がある。ものとして以下の説明を行う 1. 売買契約にかんするルールの見直し 2. 消費貸借契約に関するルールの見直し 3. 保証美観するルールの見直し 参加した皆様にはわかりやすかったと好評であった。テキストを持ち帰り、事業所で今後民方の改正したルールを事前に理解できたことで、今後の契約についても理解し、契約ができると話していた。							
		指標	民法改正前について理解を深めた事業所						
		数値目標	80%	実績数値	75%	目標達成度	93.8%		
	成果の代表事例								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	不動産業者が仕事上特に関係があるとのことで、開催する運びとなったが、出席する方が予定が入り参加できなかったことや、時間的に参加できなかったと考える。今後、民法の改正に問い合わせがあれば、司法書士の方と連絡を取り相談して頂くようフォローして行く。							

泉佐野商工会議所

事業名		「泉佐野ランチガイドブック」							
想定する実施期間		31 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	市内の小規模の飲食店はチェーン店の乱立や消費税増税などのあおりを受けて、売上・利益が伸び悩んでいる現状にある。また、市内では夜間営業の飲食店は盛んではあるが、日中の飲食店はPRする機会が少なく目立たない。泉佐野市内の日中の飲食業の宣伝及び活性化を図るために、ガイドブックを作成しPRを行う。消費者の購買意欲を喚起し、参加店への来店客数増加を目指し、今後の固定客に繋げていくことを目指す。本事業において各店舗の売上上位にあたる商品を掲載していくことによって、各店舗が個性のあふれる店舗として差別化を図りながら、泉佐野市の飲食業の発展を目指していく。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉佐野市内で駅周辺の飲食店を中心に募集する。また、本所と泉佐野市で連携している「泉佐野長者バル」の参加店ネットワーク(泉佐野市内の飲食店約65店舗が加盟・全て南海本線泉佐野駅又は羽倉崎駅周辺の飲食店)において募集を行い50社を支援対象とする。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	泉佐野市内の小規模店に対して募集を行い、ランチガイドブックを作成した。各店舗ごとにランチタイム時に売上の多いランチを紹介していくことで消費者側に印象の残る様なPRを広く行った。具体的には銀行や市町村の関連窓口等で配布を行い、商工会議所ニュースや市報折込、DM等で周知した。 【手法・時期】 ①令和元年7、8、9月において掲載店舗募集(職員訪問、チラシ・会議所所報等にて掲載) ②9、10月校正確認(各職員で参加店舗に確認) ③令和元年10月下旬より配布開始(参加店舗、銀行、まちの活性課、公共施設等に配架依頼) ④令和2年1月よりアンケート調査 【参加店舗】 30店(1店舗アンケート時に廃業・1社2店舗の為、個票は28枚)							
		①府施策連携							
		②広域連携							
	③市町村連携	公民館等の公共施設との連携によるPR							
	④相談相乗	カルテ化には繋がらなかった(担当指導員等で申込や書類受取の際に、相談の掘下げ等を行ったが繋がるものは出なかった)							
事業の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	50	支援企業数(実績)	28	支援実績率	56.0%	満足度	69
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	新規顧客の獲得、自店の商品の強みを再認識、販路開拓への意識向上							
		指標	店舗のPRに繋がったと実感できた企業						
		数値目標	70%	実績数値	75%	目標達成度	107.1%		
	成果の代表事例	ガイドブックに申し込むにあたって、自店舗の看板メニューと売上が上位のメニューに乖離があることに気が付くことが出来た。お客のニーズがお店の想定しているものとは違っていたので新規メニュー開発への方向性の指針にすることが出来た。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	事業計画にあたって想定していた事業所数よりも大きく下回ってしまった。理由としては、泉佐野市内でランチタイムでの営業を盛んに行っている飲食店が想定より少なかったことと計画段階で見込みを付けていた数店舗がランチタイム時のお客の増加を危惧して参加をしなかった事が理由に挙げられる。次年度は参加店舗数の母数を増やすためにランチタイムではなく、ディナータイムのお店を対象にマップ作りを続けていきたいと思う。							

泉佐野商工会議所

事業名		就労支援フェア（高齢者雇用促進フェア）							
想定する実施期間		R1 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	現下の厳しい雇用情勢の中にあって、55歳以上の高齢者を対象に「高齢雇用促進フェア」を開催。求人企業とのマッチングの場を提供する合同就職面接会をはじめ、講座や就労相談などを実施することにより、「高齢者」等の雇用促進を図る。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉佐野公共職業安定所管内（泉佐野市・熊取町・田尻町・泉南市・阪南市岬町）の事業者、又は、関西国際空港内、りんくうタウンの事業所等。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日 令和1年1月25日（土）PM1：00～4：00 ・場 所 エブノ泉の森ホール 2F ・内容 面接会、中高齢者相談、障がい者就労相談、女性のための生活相談、シルバー人材センター相談、セブーンイレブンシニア仕事説明会、マクドナルドシニア向け仕事説明会、農業セミナー及び農業相談福祉のお仕事相談、職業適性診断、福祉人材支援センター相談 							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	大阪府総合労働事務所南大阪センターの支援により、セブーンイレブンシニアスタッフ仕事説明会、職業適性診断コーナーの開催ができた。						
	②広域連携								
	③市町村連携	泉佐野市との連携により事業のPR活動及び当日のスタッフでの協力(市・広報 窓口)							
	④相談相乗								
事業の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	15	支援企業数(実績)	15	支援実績率	100.0%	満足度	64
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	16社の事業所より、正社員、契約社員、パートを含めて350名の募集があり、その内10名が採用された。採用された方々は事業所でそれぞれの業務につくことができ、雇用促進の一助とすることができた。事業所においても、仕事の効率アップにつながった。 高齢者相談17名、障がい者就労相談7名 福祉のお仕事相談2名、シルバー人材センター相談 8名 求人情報コーナー 12名、農業セミナー&農業相談 15名 来場者数 163名							
		指標	採用に結びついた企業の割合						
		数値目標	50%	実績数値	20%	目標達成度	40.0%		
	成果の代表事例	事業関係正社員1名、清掃業パート4名、製造小売業パート1名、設介護職4名、ホテルフロントレストランスタッフ4名。合計10名の方々が採用されました。							

<p>その他目標値の 実績</p>	<p>目標値 (計画)</p>	<p>170</p>	<p>目標値 (実績)</p>	<p>163</p>	<p>目標達成度</p>	<p>95.9%</p>
<p>・来場者数</p>						
<p>実施結果</p>	<p>課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)</p> <p>高齢者雇用促進フェア（合同就職面接会）の会場で、企業側と求職者側の双方の希望や条件も有り、採用に至ることは難しいが今後も1人でも多くの方を採って頂くよう採用のある事業所に参加して頂き、多く求人の方々が、雇用して頂けるよう今後も継続して取り組んで行きたい。 大阪府、ハローワークとの情報や連絡を密にして、参加企業の求人とマッチした求職者が参加できるよう努力して行きたい。</p>					

泉佐野商工会議所

事業名		製造業のための生産性向上セミナー							
想定する実施期間		H 31 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	人口減少というこれまでにない局面の中で、成長力を強化して経済成長を持続させることが喫緊の課題となっている。そのために、成長力強化の鍵となる生産性を向上させることが不可欠となっている。そこで現場の改善に焦点を当てて、必要な知識を実例と共に学び、生産性向上に向けた現場改善を各事業所が取り組めることを目指すセミナーを開催する。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	管内の製造業者約1,000社の内、中小・小規模事業300社。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<ul style="list-style-type: none"> ●開催日時：令和2年1月29日(水) 14時～16時 ●内 容：①現場改善の必要性 ②事例で学ぶ現場改善方法 ③5S活動の取り組みについて ④5S活動実施メモを書いてみよう ●場 所：泉佐野商工会議所 ●講 師：パナソニック ライフソリューションズ創研(株) コンサル・OM開発センター 部長 田中 豊氏 ●参加対象：経営者、経営幹部等 							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
②広域連携									
③市町村連携	市役所との連携通じて案内周知を図る								
④相談相乗	カルテには繋がっていない(自社で取り組みができるようにテンプレートをういた内容だった。)								
事業の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	20	支援企業数(実績)	8	支援実績率	40.0%	満足度	95
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	受講された企業においては、セミナーに対する満足度は高く、参考になった項目も多くあり、現場改善と5S活動の取組みが重要であることを認識されている。また、有用な情報が得られた、取組んでいるが不十分なところがあるとの回答が多く、更に取組をすすめる、何らかの取組を進める等、セミナー受講により、積極的に生産性の向上に向けての新たな課題を再認識し、内容の見直しや変更に取り組むきっかけになったものと思われる。							
		指標	生産性向上に取り組む企業						
		数値目標	70%	実績数値	88%	目標達成度	125.7%		
	成果の代表事例	取組み意識が向上した、もしくは既に取り組んでいるが、有益な情報を得ることが出来たなどの意見があり、今後前向きに生産性の向上に取り組んで行く企業が多く見受けられた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)						目標値(実績)		
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	計画時に予定していた支援企業数は20社であったが、実際のセミナー参加者数は7社8名となった。目標数値を達成するため、広く企業への周知を行い、巡回時に代表者へセミナーを進め、2社から参加の回答を得た。今後はより内容の充実を図り、直接代表者、経営幹部に内容と取組みへの意義を理解してもらえようセミナーのPRを行うこととする。							

泉佐野商工会議所

事業名		「女性が働きやすい魅力ある職場づくり」とは																																		
想定する実施期間		H 31 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること																																		
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	一部大企業を対象として、「女性の職業生活における活躍の推進に関する基本方針」が策定されている。労働力人口が減少していく今後は、女性をはじめとした多様な人材の能力を活かすことができなければ、組織は生き残ることができない。女性が働きやすい魅力ある職場づくりは、労働力人口が減少する中、「働き方改革」の一番の近道と捉え、役員や経営層を対象に、女性活躍推進の意義と取り組み方を学ぶセミナーを開催する。																																		
	支援する対象 (業種・事業所数等)	経営幹部や現場責任者を対象とした、人材育成に取り組む、中小・小規模企業																																		
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<ul style="list-style-type: none"> ●開催日時：令和2年1月23日(木) 14時～16時 ●内 容：(1)女性の活躍推進が必要な背景 (2)女性活躍推進と企業にとってのメリット (3)先進中小企業の取り組み事例 (4)女性が活躍できる働きやすい職場を作るポイント ●場 所：泉佐野商工会議所 2階第1研修室 ●講 師：ペアリンク 代表 土元 紀子 氏 <p><事業手法 (①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果) の具体的な連携・効果を記載></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">①府施策連携</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td colspan="6">市役所との連携通じて案内周知を図る</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td colspan="6">カルテには繋がっていない(参加者が管理職中心のため)</td> </tr> </table>							①府施策連携							②広域連携							③市町村連携	市役所との連携通じて案内周知を図る						④相談相乗	カルテには繋がっていない(参加者が管理職中心のため)					
	①府施策連携																																			
	②広域連携																																			
③市町村連携	市役所との連携通じて案内周知を図る																																			
④相談相乗	カルテには繋がっていない(参加者が管理職中心のため)																																			
計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	20	支援企業数(実績)	3	支援実績率	15.0%	満足度	98																												
目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>受講された企業においては、女性活躍推進の意義と取り組みが重要であることを認識し、新たに職場改善に取り組む、前向きな企業が見受けられた。セミナーに対する満足度は高く、参考になった項目も多くあった。既に女性の活躍推進に取り組んでいる企業においても、セミナーの受講を機に新たな課題を再認識し、内容の見直しや変更に取り組むきっかけになったものと思われる。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>指標</td> <td colspan="6">女性の活躍を見いだせた企業の割合</td> </tr> <tr> <td>数値目標</td> <td>70%</td> <td>実績数値</td> <td>100%</td> <td>目標達成度</td> <td colspan="2">142.8%</td> </tr> </table>							指標	女性の活躍を見いだせた企業の割合						数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.8%																
指標	女性の活躍を見いだせた企業の割合																																			
数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.8%																															
成果の代表事例	<p>取り組み意識が向上した、もしくは既に取り組んでいるが、有益な情報を得ることが出来たなどの意見があり、今後前向きに職場改善に取り組んで行く企業が多く見受けられた。</p>																																			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度																															
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>計画時に予定していた支援企業数は20社であったが、実際のセミナー参加者数は3社6名となった。目標数値を達成するため、広く企業への周知を行い、巡回時に代表者へセミナーを進めるも参加への理解が得られなかった。 今後はより内容の充実を図り、直接代表者、経営幹部に内容と取り組みへの意義を理解してもらえようセミナーのPRを行うこととする。</p>																																		

泉佐野商工会議所

事業名		就職フェア（合同就職面接会）							
想定する実施期間		1990 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	求人倍率は良くなったきているが、まだまだ現下の厳しい雇用情勢の中にあって、これからの成長企業と求職者のマッチング機会を設けることで、企業の人材獲得に貢献し、地域の雇用促進をはかる。企業にとっては、将来の発展のために、優秀な人材を確保する絶好のチャンスである。また、学生等と中小企業とが直接交流することにより、中小企業への理解を深めて頂く。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉佐野公共職業安定所（泉佐野～阪南市）の管内事業所外、又は、関西国際空港やりんくうタウンの事業所への参加募集を行う。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日 令和1年10月8日（水）PM1：00～PM5：00 ・会場 関西エアポートワシントンホテル 1F リヴァージュ ・内容 ①就職希望の中途採用者・パート・アルバイト・既卒者・大学生、短大性、専門学校生と求人企業が個別に面接を行う。②ハローワークコーナー③コンピューター就職適性診断コーナー④面接速成講座⑤若年者就労相談・就職者へのPR新聞折込チラシ、近隣商業施設公共施設・掲示板等へのポスター掲示、立て看板 							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		<table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td>大阪府総合労働事務所南大阪センターの支援により、職業適性診断コーナーの開催ができた。</td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td>熊取町商工会・泉南市商工会・阪南市商工会、岬町商工会の協力で、参加企業数が確保できた。</td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td>泉佐野市、田尻町より、ポスターの掲示及び市報・町報のPRの協力体制ができた。</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td>事業実施後に、カルテ化に取り組んだ。</td> </tr> </table>	①府施策連携	大阪府総合労働事務所南大阪センターの支援により、職業適性診断コーナーの開催ができた。	②広域連携	熊取町商工会・泉南市商工会・阪南市商工会、岬町商工会の協力で、参加企業数が確保できた。	③市町村連携	泉佐野市、田尻町より、ポスターの掲示及び市報・町報のPRの協力体制ができた。	④相談相乗
①府施策連携	大阪府総合労働事務所南大阪センターの支援により、職業適性診断コーナーの開催ができた。								
②広域連携	熊取町商工会・泉南市商工会・阪南市商工会、岬町商工会の協力で、参加企業数が確保できた。								
③市町村連携	泉佐野市、田尻町より、ポスターの掲示及び市報・町報のPRの協力体制ができた。								
④相談相乗	事業実施後に、カルテ化に取り組んだ。								

事業の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	35	支援企業数(実績)	33	支援実績率	94.3%	満足度	50
	目標の達成度 （支援企業をどう変化させることができたか）	33社の事業所より、正社員6名、契約社員7名採用された。採用された方々は事業所で、それぞれ業務につくことができ、雇用促進の一助とすることができた。また、事業所においても、事業を継承していく人材を得ることができ仕事の効率を上げることができた。							
		指標	若者との面談ができた事業所の割合						
		数値目標	70%	実績数値	49%	目標達成度	70.0%		
	成果の代表事例	関西エアポートワシントンホテルで不足していた調理補助スタッフ1名、フロント業務1名を採用することができ、仕事の効率化アップに繋がった。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み （実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）	ザ・ワークフェア2019（合同就職面接会）の会場で、企業側と求職者側の双方の希望や条件も有り、採用に至ることは難しいが今後も1人でも多くの方を採って頂くよう、採用意欲のある事業所に参加して頂き、多くの求人の方々が、雇用して頂けるよう今後も継続して取り組んでいきたい。							

泉佐野商工会議所

事業名		若手社員フォローアップ講座							
想定する実施期間		31 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	中小企業の人材確保が問題となる中、一方では大卒社員の3割が3年以内に離職する現状もあり、若手社員の育成は企業の課題として重要性を増している。大手・中堅規模の企業であればOFF-JTでビジネスマナーを含めた社会人の基礎を現場の実務と並行して習得することが可能だが、中小企業においてはON-JTのみを行っている事業者も多く、座学での研修の機会が無く、ビジネスの基礎的な部分への理解が足りず業務に支障をきたすケースも少なくない。本事業では研修会の実施により新卒社員や若手中途社員を対象にビジネスマナーの再確認とメンタルケアを図る							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	小売業、飲食等サービス業を営む中小企業者等を対象として、24社を想定。ビジネスマナー等を自社で教育する時間がない中小企業者等							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	泉佐野商工会議所において、ビジネスマナーの専門家を招き、再確認としてビジネスマナーのレクチャーを行った。また、メンタルケア等の働く上での悩みやストレスとの向き合い方、相談窓口についてもレクチャーした。 【内容】(9月9日(月)10時～16時) 泉佐野商工会議所 講師：村井 絵里奈氏 参加者数：31名(補助金対象 16.5社) ・ビジネスマナーの再確認 ・働く上での悩みやストレスとの向き合い方 ・勤労者のためのこころの相談窓口について ・コミュニケーション能力の向上について ・電話対応と名刺交換の基本 ・報告・連絡・相談について ・クレーム対応 ・若手社員としての役割・求められる力 <事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	OSAKAしごとフィールドの協力で労働相談窓口の紹介ができた。						
		②広域連携	岸和田、貝塚との3市合同で行うことで幅広い周知が出来た。						
	③市町村連携	市民版の商工会議所ニュース等により幅広い周知が出来た。							
	④相談相乗								
事業の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	24	支援企業数(実績)	17	支援実績率	70.8%	満足度	93
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	若手社員がビジネスマナーについて再確認を行い、業務の円滑な遂行が可能となった。また働く上での悩みやストレスとの向き合い方を学び、労働に関する相談窓口等を紹介する事で離職を事前に防げる事が可能になった。							
		指標	ビジネスマナーへの理解が深まった企業数						
		数値目標	80%	実績数値	91.00%	目標達成度	113.8%		
	成果の代表事例	入社して間もない若手社員や新卒社員に対し挨拶・名刺交換・電話対応といった社会人として必要不可欠なビジネスマナーの再確認・再発見を促すことができた。また、働く上での悩み・ストレスとの付き合い方やosakaしごとフィールドの案内も行った、若手社員・新入社員に対しフォローアップを行うことができた							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	講座の内容は、講師とよく相談をして難しすぎる内容にならないように気をつける必要がある。ビジネスマナーのレベルが違いすぎると内容が理解できなくなる事がある。今回の講座は、満足している事業所が多く見られ、アンケートでも不満の人は1人もいなかった。参加者は31名で 多くの方に受講いただくことができたが、同じ会社からの申込みも多く、社数は16.5社に留まった。今後は、1社からの申込みの人数制限をすることにより更に受講者を増やせるのではないかとと思われる。							

泉佐野商工会議所

事業名		人材採用・定着セミナー							
想定する実施期間		31年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	中小企業の人材確保が問題となる中、一方では大卒社員の3割が3年以内に離職する現状もあり、人材採用・定着は企業の課題として重要性を増している。中小企業にとって、採用した人材が早期に離職した場合、採用にかかるコストが再び必要となることから、人材の採用とともに人材の定着は大きな課題である。人材の採用・定着について悩んでいる事業所に対して人材対策セミナーを実施する。これにより、人材確保および早期離職者の防止を図る。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉佐野市内および広域連携(岸和田・貝塚)管内の中小企業・個人事業所の経営者・人事担当者を対象として、21社を想定。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	泉佐野商工会議所において、人材採用・人材定着の専門家を招き、人材確保・早期離職者について悩んでいる個人事業主・人事担当者へ対策をレクチャーした。 実施日：令和元年10月21日(月)14時～16時 場所：泉佐野商工会議所2階 第1研修室にて実施 講師：一般財団法人大阪労働協会 人材開発部 部長 佐々木 順一氏 参加人数：13名(補助金対象12社) 【内容】 ・人材採用・定着についての現状の把握 ・人材採用・定着に向けた取り組み ・質疑応答 ・企業と労働者の相違 ・成功企業の事例発表							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	大阪府の協力で企業用メールマガジンでの案内ができた。						
	②広域連携	岸和田、貝塚との3市合同で行うことで幅広い周知が出来た。							
	③市町村連携	市民版の商工会議所ニュース等により幅広い周知が出来た。							
	④相談相乗								
事業の実績/目標達成度	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	21	支援企業数(実績)	12	支援実績率	57.1%	満足度	82
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	人材確保・早期離職者について悩んでいる個人事業主・人事担当者に対してレクチャーを行い、人材の採用・定着について理解を促すことができた。具体的には、労働者と事業所の相違や自社の課題に対するの取り組み方等のレクチャーを行った。また、OSAKAしごとフィールドの案内も行い、人材の確保・従業員の離職防止につながった。							
		指標	人材採用・定着への理解が深まった企業数						
		数値目標	80%	実績数値	88.00%	目標達成度	110.0%		
	成果の代表事例	個人事業主・人事担当者に対して、人材採用・定着についてレクチャーを行い、自社の課題について理解を促すことができた。また、OSAKAしごとフィールドが製作した企業診断ツールの案内を行い、人材確保へのフォローアップも行うことができた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	講座の内容は、講師とよく相談をして難しすぎる内容にならないように気をつける必要がある。人材採用・定着について、各企業によって課題が異なるため、セミナー内容が難しいと理解できなくなることもある。今回の講座は、満足している事業所が多く見られた。参加者は13名で、当日欠席者も多かった為、社数は12社に留まった。今後は、開催日の1～3日前に申込者へ参加の確認連絡をすることにより更に受講者を増やせるのではないかとと思われる。							

泉佐野商工会議所

事業名		訪日外国人満足度増加セミナー								
想定する実施期間		30 年度～ 年度まで ※複数年段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	近年、日本全体で海外からの観光客が増加しており、泉佐野にも多くの観光客が訪れている。旅行の目的も当初は「爆買い」という言葉通り買い物を目的とした旅行から、最近では自然や、日本の文化を楽しむというような体験型旅行に変化しつつある。 そこで迎える側として重要なのが、日本の文化や習慣を押しつけるのではなく、海外の文化や習慣を理解しおもてなしすることが大切である。海外の文化や習慣を理解し、コミュニケーション方法を学び、インバウンド対応への不安やストレスを減らしつつ、訪日観光客に満足して日本を楽しんでもらえることを目的として上記セミナーを開催した。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	広域連携にて泉佐野市、岸和田市、貝塚市の各市域における事業所で、サービス業や飲食業などを営んでおり、外国人と接客する機会の多い事業所15社（泉佐野：5社、岸和田：5社、貝塚：5社）を想定。								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	泉佐野商工会議所に於いて、当所幹事、近隣（岸和田、貝塚）との広域連携を図り、ビジネスに係る講師を招き、挨拶から接客に係る簡単な用語まで外国人観光客への対応に必要な知識と接客・接遇についてレクチャーした。 【日時・場所】 令和元年11月25日（月）及び26日（火）14：00～16：00 泉佐野商工会議所 2F 第一研修室 【内容】1日目（1日間2H） 1.インバウンドの基礎知識 2.多文化理解 3.外国人とのコミュニケーション接遇 4.シンプル接客英会話 5.まとめ・すぐに使える英語のフレーズの選択 2日目 1.関西のインバウンドについて 2.宗教と多様性 3.シンプル接客英会話 4.まとめ・すぐに使える英語のフレーズの選択 【個別相談】 ・セミナー参加者の中で希望者はインバウンドビジネスに関する個別相談を行った。 【講師】 ルーセントライフネス(株) 石井 由美子 氏								
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>								
		①府施策連携								
	②広域連携	泉佐野・岸和田・貝塚のエリアにおいて会報・案内チラシ・HP等、PR活動の展開								
	③市町村連携	市民版の商工会議所ニュース等により幅広い周知ができた。								
	④相談相乗	カルテ化には繋がらなかった(個別相談を募って事業所の相談に応じる形でしたが個別相談の希望がなかった)								
事業の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	15	支援企業数(実績)	14	支援実績率	93.3%	満足度	96	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	外国人との文化の違いを知ることができ、宗教やインバウンドの現状についても理解を深めることができた。アンケートによるレスポンスからも多くの参加者が前向きにコミュニケーションを取っていききたいとの回答が得られている。								
		指標	訪日外国人へのコミュニケーション対策を検討する企業数							
		数値目標	70%	実績数値	81%	目標達成度	115.7%			
	成果の代表事例	本セミナーを受講された飲食店の従業員は今回のセミナーで宗教によって禁止されている食事や考え方を知ることができた。外国人が次回来店されたときは言語だけでなく宗教にも注意して接客を行っていくように心掛けている。								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	ほとんどのお店が外国人や英語への苦手意識のおかげで、正しくコミュニケーションをとることが出来ずにいた。しかし、今回のセミナーで簡単な英語の発音や聞き取りだけでなく、苦手意識を無くすことが質の良いコミュニケーションを生み出すきっかけになることだと知ってもらえたと思う。しかし、こういったセミナーは1回のきっかけでは、なかなか取り込みづらい部分もあるので、継続的にインバウンドに関わるセミナーを開催していきたいと思う。								